

## 第 28 回小泉文夫音楽賞 受賞者と授賞理由

徳丸吉彦

第 28 回の小泉文夫音楽賞をパトリシア＝シーアン・キャンベル氏と時田アリソン氏が受賞されました。お二人の個々の業績については、以下に記す通りですが、キャンベル氏の音楽教育と民族音楽学のインターフェイス研究と時田氏の語り物研究の双方は、故・小泉文夫教授が生前深い関心を持っていた分野であることを指摘しておきます。

小泉教授は、民族音楽学の研究において学習・教授過程を重視しました。子供の歌の収集を行なうとともに、義務教育で使用するための音楽教科書を、小泉賞初代委員長の故・柴田南雄教授他と編集しました。その目的は、それまでの固定した楽曲群ではなく、民族音楽学や西洋音楽史研究の成果を入れて、教育内容を現代化することでした。残念ながら、この教科書は広く使われることはありませんでしたが、その発想は現代の教科書に活かされています。小泉教授の音楽教育と民族音楽学の重なりをさらに深化して、理論的な枠組みを与えたのがキャンベル教授なのです。

小泉教授は世界の語り物に深い関心をもって調査しました。1960 年代後半に開かれた古代ギリシャ音楽に関する研究会で、小泉氏がホメロスの叙事詩を研究するために 1960 年に出版されたアルバート・ロードの著作を紹介して、その新しい方法に焦点を当てる必要を強調しました。このロードの著作が時田氏の最新の研究でも重要な役割を果たしています。

今回受賞されるお二人の研究が、小泉教授の夢を叶えたものであることを、私は嬉しく思います。

(聖徳大学教授・京都市立芸術大学客員教授・お茶の水女子大学名誉教授)

## パトリシア＝シーアン・キャンベル教授について

パトリシア＝シーアン・キャンベル教授はアメリカ合衆国で教育を受けた民族音楽学者です。また、日本でもよく知られているジャック＝ダルクローズのリトミックも専門的に学ばれました。現在はシアトルのワシントン大学で民族音楽学と教育の関わりを扱う複合的な領域の教授として活動されています。同大学が優れた教授に与えるドナルド・E. ピーターセン教授のポストに就任しておられます。

音楽を習得することと、音楽を教えることは、それぞれの文化にとって不可欠なことです。民族音楽学の重要な対象と考えられてきました。しかし、民族音楽学が成人の活動や高度な芸術活動を主に扱ってきたため、音楽を習得するという学習過程をその中でうまく扱ってきませんでした。キャンベル教授は子供に焦点を合わせて、音楽がどのように教えられ、また、どのように学習されているかについて、アジア、アフリカ、オセアニア、ヨーロッパで丹念に調査をされ、その成果をもとに、民族音楽学と音楽教育学の間に初めて太い橋を架けました。名著『グローバルに音楽を教えること』に見られるように、世界の音楽を教えるという理念を提出し、それぞれの音楽構造・音楽の脈絡・音楽の意味などの具体的な教授方法を提案することによって、世界の音楽教師に新しい教育理念を実践する方法を与えました。キャンベル教授の研究成果は、日本における音楽教育の在り方を考える上でも非常に大きな貢献であり、日本でも今後深く理解されるべきものです。

キャンベル教授は、大学での活動に加えて、スミソニアン研究所でアメリカ合衆国の伝統音楽の保存にも努力を続けています。

### 主要著作

*Redefining Music Studies in an Age of Change* (Routledge 2017; co-authored with Ed Sarath and David Myers)

*The Oxford Handbook of Children's Musical Cultures* (Oxford University Press 2013; co-edited with Trevor Wiggins)

*Global Music Series* (Oxford University Press 2, 2004-present, co-edited with Bonnie C. Wade [28 book- CD sets on music in Bali, Bulgaria, China, Egypt, North India, South India, Japan, Ireland, Native America, Trinidad, others])

*Music in Childhood* (Cengage 2013, fourth edition, co-edited with Carol Scott-Kassner)

*Songs in Their Heads: Music and Its Meaning in Children's Lives* (Oxford

University Press 1998, 2010)  
*Free to Be Musical: Group Improvisation in Music* (Rowman and Littlefield, 2010; co-authored with Lee Higgins)  
*Musician and Teacher: Orientation to Music Education* (W. W. Norton 2008)  
*Born to Groove* (with Charlie Keil and friends 2006; online)  
*Teaching Music Globally* (Oxford University Press 2004)  
*Canciones de America Latina: De Su Origen en La Escuela* (Warner 2001)  
*Music in Cultural Context* (Music Educators National Conference 1996)  
*Roots and Branches: A Legacy of Multicultural Music for Children* (World Music Press; co-authored with Ellen McCullough-Brabson and Judith Cook Tucker)  
*Lessons from the World* (Schirmer, 1991)